

3 歳児 1 月

「できるかな？
できるように
なりたいな！」

「できるかな？できるようになりたいな！」

気付きウサギです

新しい遊具に興味满满と向かう子どもたち。しかし、思っている以上に登ることが難しいと感じることもあり、できるようにするために頑張っています。遊具の特性上自分の力で登らないと、他の渡ったり降りたりする際に怪我につながる可能性があるため、まずは自力で登れるように考えています。そのために、持ち上げたり引っ張ったりするのはなく、教師がやって見せたり、できる友達姿を見せたり、どこを持ったりどこに足を掛けたりどう身体を動かしたらいいのかなどのコツを伝えたりして支えています。



足が網の間に入らないように、下を見ながら歩いたり、ロープを両手でしっかり握ったりしています。




手で持ち手や出っ張りを握んだり、足で踏ん張ったりして身体を引き上げています。




できました！

登っている友達を見て、同じように足の掛ける場所や掛け方をしています。



のせて。



友達が乗れるように空いている場所を伝えたり、横に寄り添っています。

今、子どもたちはこんなことを学んでいます😊

- 遊具を見たり、友達が遊んでいるのを見たりして、したいと思ってしたり、難しいと思うことも先生にコツや仕方を教えてもらってしようしたりする。
- やってみてできたり、できなかったことができたり、先生や友達にコツや仕方を教えてもらってできたして嬉しいと思う。
- できなくて困っている、怖いから助けて欲しい、仕方を教えて欲しいなど、自分の思っていることを先生に言葉で伝えようとする。
- 遊具を使って遊びながら、身体の使い方や動かしかを感じたり、身体を動かす心地よさを感じたりする。

【自分の生活】
【自分の生活】
【人とのつながり】
【健全なからだ】

4 歳児 7 月

「プールでの遊び」

プールでの遊び



色々な動物になってかけっこ！水の中の動きにくさ、しぶきがあることなどを感じています



- ・顔に水がかかってしまったりいやな気持ちになったときに、教師に共感してもらって、落ち着かせている
【自分の生き方】気持ちをコントロールする
- ・プールの中で、教師が持ったフライングをくぐる時、「もぐる」「上げて」などと言って、持って欲しい高さを伝えている
【人とのつながり】自分のことを伝える
- ・プールサイドを走るとすべって危ないことや、プールサイドに座っているときにプールに近すぎると落ちて危ないことを教師に教えてもらって、歩いたり、離れて座ったりしている
【健全なからだ】安全



うわあ～流される～！何もしてないのに流されちゃう、ふしぎ！

もも組みんなでの洗濯機！壁にそって全力で走り、教師の合図に合わせてざぶーん！と前に飛び込むと、流れる流れる！！水の力ってすごいね。身体が冷えないように、また、太陽の熱で肌がやけどないように、と理由を教師に教えてもらって、タオルを広げてかけようとしていました。



タオル、あったかーい！！